



特集

私達と観光



9月8日放映の『酒井広うわさのスタジオ』で、女優の松原智恵子さんが熊本を訪れ、熊本の観光地を全国ネットで紹介しました。(写真はうたせ船に乗り、漁師さんたちと談笑する松原智恵子さん。船上ではえびに舌つつみを打った。)

1 盛んになる 観光レクリエーション

私達の周囲でも、余暇の増加や生活水準の向上にともない、レクリエーションが盛んになってきました。調査でも生活の関心がレジャーに向けられて、景気の低滞のなかでも観光関連への支出が増加しているのがよく判ります。

それでは日本国民は一体年間どのくらい旅行に出て、またその消費額はいくらになるのでしょうか。総理府の調査では、五十七年度は前年に比べると、実質所得の減少で後退はしていますが、国民一人あたりの旅行回数は二・〇九回で、宿泊数は四・六七泊となっています。したがって国民全体の延べ宿泊数は五億五千万泊となります。(財)日本交通公社によると五十七年度の国民全体の消費額は外人観光客の消費を加えた一泊二日以上旅行消費額が八兆三千億円と推計されており、これに日帰り旅行者の消費額四兆五千億円を加えると、総額で実に十二兆円という驚くべき額に達します。

ロマンを感じさせるうたせ船

産業となつていきます。

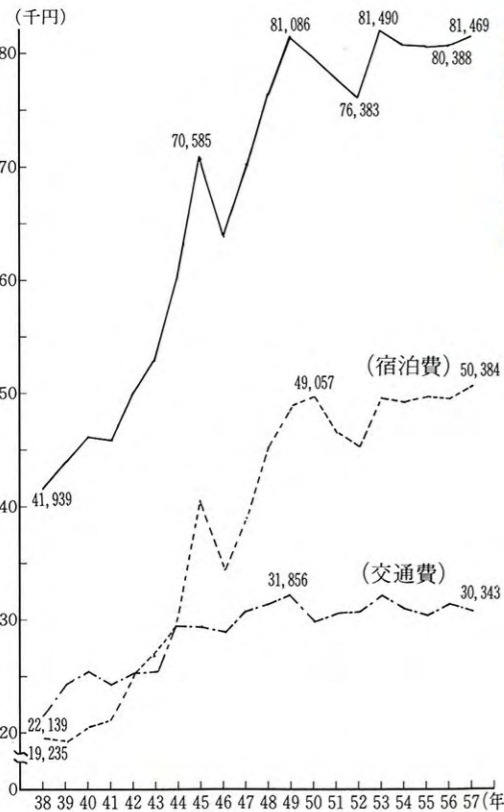
このようなことから、世界では観光産業を外貨獲得のための重要政策として、国、自治体をあげて観光に力を入れているところが少なくありません。

●成人の余暇時間

45	55	45	年	年	平
45	55	45	55年の増分	年	日
19分	17分	58分	4時間	3時間	日
28分	28分	00分	6時間	6時間	日
28分	28分	00分	28分	28分	曜

(注) 1 NHK放送世論調査所「国民生活時間調査」による。
2 余暇時間は24時間から「生活必需」、「労働」、「家事」、「社会的つきあい」の各時間を差し引いたものである。
3 全国20歳以上の男子、女子の平均である。

●旅行関連支出の推移



(注) 1 総理府統計局「家計調査」及び「消費者物価指数」に基づき、総理府審議室で作成したものである。
2 金額は、1世帯当たり宿泊費(宿泊料、バック旅行費、交通費(電車、自動車、航空運賃、他の交通)及び旅行かばんの年間消費額の合計であり、57年価格に換算してある。